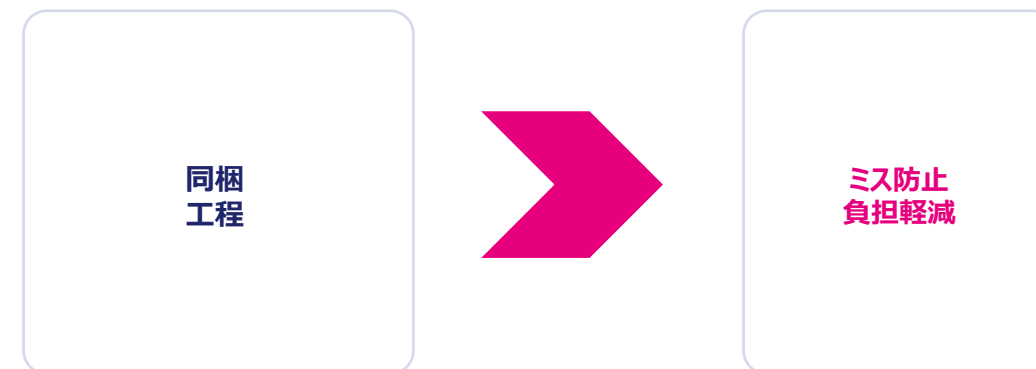


その同梱工程、 ミス防止と現場負担を 両立できていますか

同梱ミス防止・現場負担軽減チェックリスト

8項目・約3分で、同梱ミスの流出リスク、現場負担、保守・展開性の「次の一手」を確認



対象：工場長／生産技術担当／情報システム部門／DX推進担当／経営者

A | ミス流出・確認品質

- ☐ 1 同梱ミスの流出リスクがある箇所を整理できていない
- ☐ 2 人手チェックが中心で、確認方法が担当者ごとにばらつく
- ☐ 3 同梱工程を通っていない製品を、次工程入口で自動検知できない

B | 現場負担・作業性

- ☐ 4 音声指示や声出し作業が多く、作業者の喉・体力の負担になっている
- ☐ 5 新しい仕組みに切り替えると、現場の作業フローが大きく変わる不安がある
- ☐ 6 画面指示やスキャンだけで、迷わず作業できる状態になっていない

C | 保守・展開性

- ☐ 7 製品・部品・構成物をマスタで管理できず、他ラインへ展開しにくい
- ☐ 8 作業履歴やエラー履歴を後から確認しづらく、教育や改善に使いにくい

*本チェックリストは、記事掲載事例をもとに、相談前に整理しやすい観点へ再構成した簡易チェックです。

チェック数： /8

0～2個

現状整理から開始

大きな見直し前に、現行フロー・確認方法・履歴の残り方を整理します。更新時期や他ライン展開の予定も記録しておく、判断材料になります。

3～5個

改善範囲を具体化

ミス流出リスク、作業負担、既存設備の活用範囲を整理します。画面指示、部品照合、次工程入口チェックのどこを強化するかを比較します。

6～8個

早めの確認を推奨

現場負担や保守・展開性の課題が重なっている可能性があります。現行フローの見直しと、導入・保守しやすい構成を早めに確認します。

相談前に整理したい情報

- 現行の同梱フロー、確認手順、ミス発生箇所
- 端末・ライセンス更新時期、既存設備の活用可否

XSEEDSに相談しやすいこと

- 現状整理、原因調査、改善方針の比較
- 改修・移行・再構築、自社に合う方法の判断

診断結果をもとに、同梱工程の現状整理からご相談いただけます

無料相談フォームへ



* 記事掲載事例をもとに点検観点として再構成した簡易チェックです。相談前情報・相談内容には一般的な観点を含みます。